


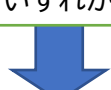
新型コロナウイルス感染症対策として
感染者又は感染疑い者が確認された場合における環境消毒の方法

◆ 消毒を行う前の留意事項

- ・ 消毒を行う際には、部屋の換気を十分に行い、最低限、マスク、手袋を着用します。できれば目の保護(ゴーグル・眼鏡)、また、あれば使い捨てのエプロンをしたうえで行うことが望ましいです。
- ・ マスクや手袋を外す際には、それらにより環境を汚染しないよう留意しながら外し、所定の場所に廃棄します。さらに、手指消毒、手洗いを遵守し、消毒・手洗いの前に目や顔を触らないように注意します。
- ・ 物の表面への直接の噴霧は、不完全な消毒やウイルスの舞い上がりになる可能性があるため避けてください。ペーパータオル等に消毒薬をしみこませて拭きます。
- ・ 拭き取りは同一方向に進み、後に戻らないようにします。
- ・ 机の上など広い場所は、一筆書きの要領でゆっくり動かして拭き取ります。雑にぐるぐる回すように素早く行くと、拭き残りが出るので注意しましょう。(1回拭き取る毎にペーパータオルは廃棄して、使い回さないようにします)

◆ 消毒方法

手指がよく触れる場所(人の手の届く範囲)をていねいに拭き取ります。

対象	消毒液	方法
【手で触れる部分の消毒】 ドアノブ、取手、照明・エアコンのスイッチやリモコン、引き出しの把手、ソファ、テーブル、椅子、電話機、コンピュータのキーボードとマウス、筆記具、トイレの便座、便器のふた、水道の水栓、レバー等 施設の共用部分 エレベーターやオートロック等のボタン、出入り口のドアノブ、階段の手すりなど不特定の人が触れる部分	次亜塩素酸ナトリウム 0.05%  いずれか  消毒用エタノール 70~80%	消毒液をペーパータオル等に十分にしみこませて拭き取る。 濡れた場所がある場合は、水分をペーパータオル等で拭きとってから行う。 次亜塩素酸ナトリウムの場合、金属面などについては腐食を起こすので10分程度経ったら、水を絞ったぞうきんなどで拭き取る。
感染している疑いがある人が使用したトイレの消毒	次亜塩素酸ナトリウム 0.1%	

※ エタノールは引火性があるので、火気に十分注意してください。

※ 使用にあたっては使用上の注意事項をご確認ください。

◆ 次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いた消毒について

【商品名(一例)】

濃度	商品名(一例)
1%	ミルトン など
5~6%	ハイター、ブリーチ、ジアノック など
6%	ピューラックス、ピューラックスS など

※ 次亜塩素酸ナトリウムは酸性洗剤と混ぜると有毒ガスが発生するので注意してください。

【消毒液の作り方】

原液の濃度に応じて希釈して使ってください。

$$\frac{\text{水に加える原液の量(ml)}}{\text{原液の量(ml)}} = \frac{\text{作成する次亜塩素酸ナトリウム溶液の濃度(%) \times \text{作りたい消毒液の量(ml)}}{\text{原液の濃度(%)}}$$

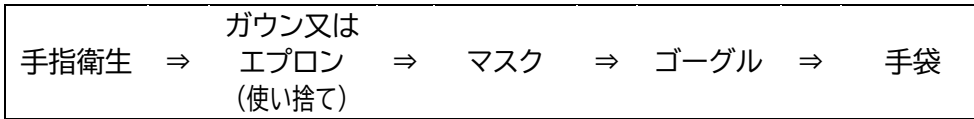
- 500mLのペットボトルを活用して次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.05%)の消毒液を作成する場合

原液の濃度	原液の量	水
1%の場合	25ml(ペットボトルキャップ5杯)	500ml
6%の場合	5ml(ペットボトルキャップ1杯)	
12%の場合	2ml(ペットボトルキャップ1/2杯以下)	

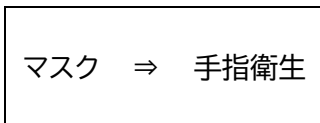
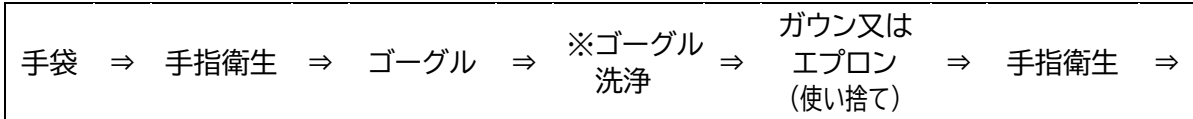
【注意事項】

- ・ 手指の消毒には使用しないでください。
- ・ 消毒するときは、十分に換気をしてください。
- ・ 希釈したものは時間が経つにつれて効果が減っていきます。その都度使いきるようにしましょう。
- ・ 危険なので、保管する際は子供などの手の届かないところに保管しましょう。
- ・ ぞうきんは使い捨てとならないことから、汚染された場所を拭き取るには適さないで使用しないでください。

◆ 個人防護具の装着の順番



◆ 個人防護具を外す順番



※使い捨てではない使用後のゴーグルは、消毒してください。
 なお、食器用洗剤で洗うことでもよいです。
 ◎消毒時の着衣は、通常の洗濯を行ってください。

《手袋》

■ 手袋着用に関する注意事項

- ・ 使用後の汚染された手袋で周囲の物品等に触れないようにしましょう。
- ・ 手袋を外す時には、汚染面を素手で触れないようにしましょう。
- ・ 手袋を外した後は、必ず石鹼と流水で手を洗いましょう(補助的にアルコール消毒薬で手指消毒を行ってください)。

■ 手袋の外し方



《エプロン(ガウン)》

■ エプロン(ガウン)に関する注意事項

- ・ エプロンは使い捨てのビニール製のものを想定しています。
- ・ 外す時には、汚染面(外側)に素手で触れないようにしましょう。

■ 外し方(エプロン)

① 首の後ろのひもを切る	② 前あてを前にたらず	③ 裾を手前に持ち上げ、汚染面を中に織り込んで、3つ折りに
		
端を持つか、裏から持ち上げ		
④ 腰の後ろのひもを切る	⑤ 汚染した表面を中にしてたたみ、縛って小さくまとめ、廃棄する	⑥ 脱いだあとは、手指衛生を行う
		

■ 外し方(ガウン)

①首の後ろのひもを解く	②腰の後ろのひもを解く	③一方の袖の内側へ手を滑り込ませる
		
④滑り込ませた手を袖口にかけて引き抜く	⑤引き抜いた袖の汚染面でもう片方の袖の汚染面を持ち汚染しないように手を	⑥袖の中に引き込んだ手でもう片方のガウンの袖を持ち、手を引き
		
⑦腕を引き抜く	⑧引き抜いた手を反対側のガウンの肩の内側へ入れる	⑨ガウンの内側に入れた手を滑らせて腕を抜く
		
⑩汚染面を内側にして丸める	⑪小さく丸めて廃棄する	⑫脱いだ後は、手指衛生を行う
		

《マスク》

- マスク着用に関する注意事項
着用する際は、口と鼻をしっかり覆いましょう。
- 外し方



- ※ 使った手袋やガウン(エプロン)等は、表面が汚染されているので触れないようにしてください。
- ※ ゴミは密閉して廃棄してください。

【引用】

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する感染管理(2020.4.7):国立感染症研究所
- ・ 新型コロナウイルスによる感染症疑いの方を家庭で看護するときには:東京都感染症情報センター
- ・ 家庭職場における消毒(例)3訂版:感染症情報センター
- ・ 感染対策マニュアル:北いわて医療関連感染制御ネットワーク(NICON)

問い合わせ先

古川町保健センター
TEL:0577-73-2948